

評価会議（平成 29 年度中間）における委員の評価及び意見

受託者に対する評価

1 項目ごと評価

項目		A委員	B委員	C委員
地域活動協議会の現在の状況についての分析 (配点 15 点)		10	10	12
画) 企 案 の 内 容 (事 業 計	事業の実施内容（支援策（取組）の内容） (配点 20 点)	14	13	18
	事業の実施体制等 (配点 15 点)	10	8	13
	今年度の重点支援策（取組） (配点 10 点)	7	7	8
支援策（取組）の実施状況 (配点 40 点)		30	30	35

主な意見等

- ・引継ぎ時に現状分析と課題認識の共有ができていたのか。
- ・支援策が絞られすぎていないか。地域データに基づくカルテはあるのか。
- ・社会福祉協議会と市の支援員との関係が見えにくい。分りにくい。
- ・C B / S Bに関する行政とのコミュニケーションは図られているのか。
- ・事業数、種目等の供給量はかなり努力しているように思う。
- ・「進行状況に地域差がある」という分析はその通り。しかし、その状態で、間接支援では、個別の問題（特に会計処理など基本的なことができていない地域に対して）に底上げできないのではないのか。
- ・間接支援が「自律に向けた支援」というのは理解できるが、様式6のように弱みははっきりしている地区については直接的な支援も必要ではないか。
- ・企業のマッチングについて、もう少し戦略をもって（先駆例も調べて）取り組んだ方がいい。
- ・社会福祉協議会の強み（柔軟性、S I の視点）を生かし、生活課題に基づいた取り組み（交流カフェや防災・福祉の連携など）を積み上げた方が向いているように思う。
- ・課題についても分析してほしい。
- ・間接支援をていねいにし、工夫が見られる。
- ・社会福祉協議会ということで、「ボランティア・市民活動センター」との協働とそのノウハウが活用できる可能性がある。
- ・地に足のついた支援を心がけてもらいたい。
- ・適切な関係をつくれるよう努力している。

2 総合評価

項目	A委員	B委員	C委員
総合評価	B	C	B

主な意見等

- ・前受託者から引き継いですぐの年次ということを加味した評価である。
- ・受託1年目ということで目に見える成果が出ないのは、ある程度、仕方ないが、社会福祉協議会の強みを生かした支援になっていないように感じる。
- ・同じ中間支援である「ボランティア・市民活動センター」と協力することは重要だと思う。
- ・社会福祉協議会を活かした取り組みを期待したい。

(評価基準)

- S：本市の求める水準を大幅に上回る効果が得られた
A：本市の求める水準以上の効果が得られた
B：おおむね本市の求める水準どおりの効果が得られた
C：本市の求める水準の効果が得られていない